

議会運営委員会報告（付託）

1. 招集年月日 令和6年1月16日（火曜日） 午後1時30分
2. 場 所 佐々町役場 3階 第1会議室
3. 開 議 令和6年1月16日（火曜日） 午後1時30分

4. 出席委員（5名）

委員長	平田 康範 君	副委員長	永田 勝美 君
委員	長谷川 忠 君	委員	横田 博茂 君
委員	川副 剛 君		

5. 欠席委員（なし）

6. 職務のための出席者職氏名

議長	淡田 邦夫 君	議会事務局長	荒木 洋介 君
議会事務局書記	濱野 聡 君		

7. 会議に付した案件

- (1) 請願第2号 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める
請願書

8. 審議の経過

(13時30分 開議)

— 開議 —

委員長（平田 康範 君）

皆さんこんにちは。ただ今から、議会運営委員会を開会します。本日は、議会広報委員の皆様方には、午前の委員会に引き続きの議会運営委員会となりますが、出席をいただきましてありがとうございます。

まだまだ寒い日が続いておりますけども、インフルエンザにおきましてはですね、小学校で学級閉鎖が出るなど、ちょっと増加をいたしております。また、コロナ感染者の方もですね、新年になりまして増加をしているようでございます。お互いこういった感染症にはですね、気をつけていただきたいと思います。

ただいまから、議会運営委員会を開会いたします。

本日の出席委員は全員出席です。

議長がお見えですので、ご挨拶をお願い致します。

議長。

議長（淡田 邦夫 君）

改めましてこんにちは。きょうは議会広報委員の皆様がほとんどだと思いますけども、午前中はほんとうにお疲れでございました。また、午後からも議会運営委員会ということでございます。12月議会で付託されました請願第2号に関しまして、十分な審査をお願いしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

— (1) 請願第2号 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書 —

委員長（平田 康範 君）

これから、本日の会議を開きます。

本日の案件は、令和5年12月議会におきまして、当委員会に付託されました、請願第2号健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書についてです。

それでは初めに、事務局長に請願書の朗読をさせます。

議会事務局長。

事務局長（荒木 洋介 君）

（請願第2号 朗読）

次のページに意見書（案）を付けておりますので、御確認ください。以上です。よろしくお願いいたします。

委員長（平田 康範 君）

朗読が終わりました。次に本請願の紹介議員となっております、永田委員から発言がありましたら、許可いたします。

永田委員。

委員（永田 勝美 君）

この件につきましては、請願趣旨の中にほぼ語られているんですけども、内容的にはですね、例えば、マイナ保険証というのが、いわゆるマイナンバーカードを持った方しか使えないわけです。当然ですね。その中にですね、特に障がい者の方とかですね、認知症の方とかについては、医療の機会なんかが多いわけですけど、そういう方々はマイナンバーカードを取得することそのものが非常に困難なんですね。だから、特に障がい者の方とかは顔写真が特定できないとかですね、そういういろんな問題があって、背景が映ってたらダメとか、マイナンバーカードを作るのには写真の限定があるんですよ。そういうのがあって、障がい者の方はマイナンバーカードを作れない状況があるんですけども、そういう方は、一方では医療に掛かる機会が多いということで、じゃあ当然、その資格証明書っていうことになるんですけども、資格証明書っていうのは、従来の保険証となんら変わるところがないわけですから、要するにこれまでの保険証をそのまま発行し続けて行けば、なにも問題ないということなんですよ。マイナ保険証をどうしても使いたいという方は、当然マイナ保険証を使えるし、これまでの保険証を使うっていう方はそのまま使えるということで、今保険証を廃止する必要がないのではないかとというのがわたしの意見です。そういう点で、実際にマイナ保険証を今使われている医療機関というのは、全体の5%程度なんです。それで、例えば長崎大学病院なんかでも、わたしの友人の子どもさんが、難病で大学病院に掛からないといけなくなっただけですけど、その際にも保険

証を持ってきてくださいと。マイナ保険証ではちょっと困ります、というようなことを言われたりとか、医療機関の受け入れについてもまだ十分ではないというような状況であるので、当然、今の保険証は、当面は継続する必要があるのではないかと思っておりますので、廃止しないように求めたいということには、大いに賛同できるのではないかというふうに思っております。御賛同よろしくお願ひします。

委員長（平田 康範 君）

紹介議員からの趣旨等の説明がございました。

本日、付託審査にあたりまして、資料を配付させていただいております。資料は、県内の市町議会の状況を調べたものになります。

資料をみていただくため、しばらく休憩します。

（13時42分 休憩）

（13時44分 再開）

委員長（平田 康範 君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

これから、質疑を行います。

長谷川委員。

委員（長谷川 忠 君）

この件に関しましては、請願第2号として12月議会で提案されましたけど、健康保険証の廃止と、他の町、波佐見町、東彼杵町、小値賀町、新上五島町は提出なしとしております。こういう県内でも町単位で提出なしということは、やはりこれが、請願としても通らないということが多々あると思いますし、わたし個人としてもこの件は、やはり提出しないほうがいいんじゃないかと思っております。なぜかと言うと、昨年10月にインボイス制度が導入された節も、結局、産業建設文教委員会として付託を受けた経緯があります。その時も、インボイス制度はわたし個人的に小規模事業者として、ほんと導入に関してはすごく反対だったんだけど、結局はごり押しで政府の成り行きに任せられたと。そういうふうなこともありますので、あえてここでこれを廃止を求めてもいかなものかなと思う趣旨で、提出しないほうがよろしいんじゃないかと思いたしましたので、私個人の意見としてです。

委員長（平田 康範 君）

他にございませんか。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

永田委員。

委員（永田 勝美 君）

賛成討論いたします。

内容的にはですね、保険証の廃止をしないで保険証を使えるという内容ですので、状況としてはそういう意見があるということを表明するということですから、問題ないのではないかな

というふうに思っております。賛成したいと思います。

委員長（平田 康範 君）

他に討論ございませんか。

長谷川委員。

委員（長谷川 忠 君）

先ほど、わたしが意見を言わせていただいたんですけど、そういうことで反対討論とします。

委員長（平田 康範 君）

他に討論ございませんか。

川副委員。

委員（川副 剛 君）

反対討論させていただきます。

健康保険証を廃止して、マイナ保険証に一本化するということでありまして、マイナンバーカードにおいてはですね、請願にもあるようにトラブルがありました。ごく稀な事例でありまして、今後のデジタル社会の形成のステップとして、マイナ保険証は必要であり、国の方針に準拠すべきと考え反対といたします。

委員長（平田 康範 君）

他に討論ございませんか。

（「なし。」の声あり）

ないようですので、これで討論を終わります。

これから採決を行います。この採決は挙手によって行います。

請願第2号 健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書は、原案のとおり採択することに賛成の方は、挙手願います。

（賛成者挙手）

挙手少数です。

したがって、本案は不採択とされました。

委員長（平田 康範 君）

以上で、本日の案件はすべて終了しました。

本日は、これにて散会いたします。

お疲れ様でした。

（13時48分 散会）